

資料

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95％信頼区間(%)	
千葉県（公立）	9,769	155	81.6	80.9	82.3
全国（公立）	255,180	5,139	81.6	81.4	81.7

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	79.7	79.4
	書くこと	2	58.9	57.5
	読むこと	4	82.5	82.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	85.9	86.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	44.4	43.2
	話す・聞く能力	3	79.7	79.4
	書く能力	2	58.9	57.5
	読む能力	4	82.5	82.1
	言語についての知識・理解・技能	9	85.9	86.3
	選択式	4	73.4	72.5
問題形式	短答式	13	84.1	84.3
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1ー（１）	漢字を <u>読む</u> (新しいビルを <u>建築</u> する)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			○					○		○			91.2	1.0	89.3	1.3
1ー（２）	漢字を <u>読む</u> (親から <u>独立</u> してくらす)				○					○		○			90.1	2.8	92.1	2.4
1ー（３）	漢字を <u>読む</u> (参加することを <u>誼</u> す)				○					○		○			96.4	1.2	95.2	1.3
1二（１）	漢字を書く (病院で <u>いしや</u> にみてもらう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			○					○		○			80.6	5.8	83.1	4.2
1二（２）	漢字を書く (東から <u>たいよう</u> がのぼる)				○					○		○			82.1	1.9	82.8	1.6
1二（３）	漢字を書く (白い <u>ぬの</u> を青く <u>そめる</u>)				○					○		○			87.0	4.9	90.5	4.2
2	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを <u>選択</u> する	狙いを明確にして質問をする	○					○				○			64.7	0.4	65.2	0.6
3ア	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から適切な内容を取り出して書く	目的に応じ、収集した情報を関係付けながら話し合う	○					○					○		92.5	1.1	92.5	0.9
3イ	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から共通する内容を取り出して書く		○					○					○		81.8	1.2	80.4	1.1
4	四つの会話文の音読の仕方として適切なものをそれぞれ <u>選択</u> する	場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読する		○						○		○			73.8	0.6	73.3	0.6
5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉える		○						○			○		90.8	1.3	91.1	1.5
5イ				○						○			○		92.0	1.6	92.2	1.7
6	創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを <u>選択</u> する	表現の効果について確かめながら物語を創作する	○	○				○	○			○			73.3	1.3	71.8	1.4
7	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く	○			○		○					○		44.4	6.9	43.2	7.5
8	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える	日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する			○					○	○				81.8	5.7	79.7	6.6
9ー	学年別漢字配当表に示されている漢字（申）の正しい筆順を適切に捉える	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く			○					○		○			83.6	5.6	82.7	6.7
9二	学年別漢字配当表に示されている漢字（赤）の正しい筆順を適切に捉える				○					○		○			80.8	6.0	81.4	7.0

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
千葉県（公立）	9,773	155	57.3	56.4－58.3
全国（公立）	255,139	5,140	55.6	55.4－55.8

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	63.7	63.0
	書くこと	5	47.5	46.8
	読むこと	5	58.8	55.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	55.8	55.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	49.2	48.5
	話す・聞く能力	3	63.7	63.0
	書く能力	5	47.5	46.8
	読む能力	5	58.8	55.7
	言語についての知識・理解・技能	1	55.8	55.2
問題形式	選択式	7	62.2	60.1
	短答式	1	47.5	45.0
	記述式	3	49.2	48.5

設問別集計結果																		
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			千葉県 (公立)		全国 (公立)			
			話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化と 国語の特質に 関する事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語について の知識・理解・ 技能	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解 答率 (%)	正答率 (%)	無解 答率 (%)
1一	目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、書く事柄を整理する		○					○		○			65.4	2.3	64.8	2.4	
1二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く		○		○	○		○		○		○	55.8	6.8	55.2	7.0	
1三	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く		○					○		○			24.6	1.9	23.5	2.1	
2一	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとまりごとに整理する	司会として収集した情報を捉え、まとまりごとに整理する	○					○			○			86.1	2.1	84.3	2.5	
2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する	○	○			○	○	○				○	51.8	15.4	52.6	14.5	
2三	話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	司会として話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進める	○					○			○			53.0	6.5	52.2	7.6	
3一ア	雑誌の特徴の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える			○					○	○			88.7	2.1	87.3	2.6	
3一イ	記事の特徴の説明として適切なものを取り出して書く				○					○			○	47.5	8.2	45.0	9.0	
3二	編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する	編集者の意図を捉える			○					○	○			55.0	3.1	51.0	3.8	
3三	目的に応じ、複数の記事を選び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する	目的に応じ、記事を選び付けながら読む			○					○	○			62.8	3.4	57.6	4.2	
3四	二つの記事に書かれている内容を選び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する	複数の記事を選び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつ	○	○			○		○	○			○	39.9	15.7	37.7	17.0	

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	9,770	155	73.6	72.6	74.5
全国（公立）	255,186	5,139	73.3	73.1	73.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と計算	10	75.2	75.0
	量と測定	4	72.4	71.7
	図形	3	72.3	72.6
	数量関係	3	75.2	74.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	8	84.7	84.9
	数量や図形についての知識・理解	11	65.5	64.9
問題形式	選択式	4	59.4	58.5
	短答式	15	77.3	77.2
	記述式	0		

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（1）	132+459 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○						○		○			95.8	0.1	95.7	0.1
1（2）	148÷37 を計算する	除法の計算をすることができる	○						○		○			94.0	1.9	94.3	1.5
1（3）	4.6－0.21 を計算する	小数の減法の計算をすることができる	○						○		○			60.3	1.8	63.1	1.6
1（4）	90×0.7 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	○						○		○			90.4	0.9	90.8	0.8
1（5）	6×2+8×3 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				○			○		○			79.4	0.5	80.0	0.5
1（6）	3/7－2/5 を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	○						○		○			85.5	2.5	85.7	2.1
1（7）	4/5÷8 を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	○						○		○			84.0	3.7	82.4	4.2
2（1）	47000は1000が何個集まった数かを書く	数の相対的な大きさについて理解している	○								○	○		88.6	0.6	88.8	0.5
2（2）	596の1/100の大きさの数を小数で書く	十進位取り記数法の仕組みについて理解している	○								○	○		75.1	3.5	73.7	3.7
3（1）	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、二つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している	○								○	○		35.9	1.3	34.0	1.2
3（2）	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している	○								○	○		42.1	3.5	41.1	3.4
4	5日間で1日に平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く	平均の意味を理解し、測定値の平均を求めることができる		○					○			○		88.1	0.8	86.9	1.1
5（1）	示されたはがきの面積は約何cmかを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている		○							○	○		60.4	1.1	60.6	1.2
5（2）	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している		○							○	○		55.1	1.3	54.6	1.2
6（1）	三つの角の大きさが60°、80°、90°である四角形の、残りの角の大きさを書く	四角形の四つの角の大きさの和が360°であることを理解している				○					○	○		76.3	1.7	76.9	2.1
6（2）	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している				○					○	○		62.4	2.6	64.8	2.7
7	示された半円をかくために、コンパスの針を刺す場所と、コンパスの開いている長さを答える	円の中心と半径について理解している				○					○	○		78.0	1.4	76.1	1.6
8	犬を飼っている8人が学級全体の人数の25%に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く	百分率の意味について理解している				○					○	○		60.0	9.5	58.3	10.0
9	直方体の底面の大きさを変えずに、高さを2倍、3倍、…にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ	表を用いて、二つの数量の関係が、比例の関係にあることを理解している		○		○					○	○		86.1	2.7	84.8	3.4

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	9,780	155	60.3	59.3	61.3
全国（公立）	255,151	5,139	58.9	58.7	59.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と計算	6	55.5	54.0
	量と測定	9	62.3	60.8
	図形	3	64.5	63.3
	数量関係	4	50.6	49.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	8	51.7	50.4
	数量や図形についての技能	3	78.8	77.6
	数量や図形についての知識・理解	2	67.1	65.2
問題形式	選択式	3	69.9	68.0
	短答式	5	78.4	77.1
	記述式	5	36.5	35.3

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（１）	代金320円に対して520円を支払ったとき、おつりとしてもらった2枚の硬貨の種類を書く	支払い方の工夫を解釈し、おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させることができる	○					○			○			93.2	0.4	92.6	0.5
1（２）	代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く	硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払いの方が、おつりの枚数が少なくなる理由を記述できる	○					○				○		43.4	5.2	42.5	5.6
2（１）	中型の跳び箱を8段にしたときの高さを求める式を選ぶ	跳び箱の図を観察し、指定された段の高さを求める式を読み取ることができる		○		○			○		○			87.8	1.1	87.1	1.0
2（２）	中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く	必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述できる	○	○		○		○				○		27.4	1.2	26.8	1.3
2（３）	2種類の跳び箱を30cm高くすると同じ高さになるわけとして、正しい記述を選ぶ	示された様数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる	○	○						○	○			59.4	2.0	56.2	2.2
3（１）	縦6cm、横10cmの長方形に内接するひし形の面積を求める式と答えを書く	面積が等しい直角三角形の数に着目し、長方形に内接するひし形の面積の求め方を理解できる		○	○					○		○		74.8	4.3	74.2	4.1
3（２）	面積が等しい直角三角形を基に、長方形に内接する四角形の面積と長方形の面積の関係を書く	面積が等しい直角三角形を基に筋道を立てて考え、面積の関係を記述できる		○	○			○				○		52.6	8.2	51.2	8.6
4（１）	午前11時30分までにご飯が出来上がるようにするために、所要時間40分間を基に、ころろに点火する時刻を求める	与えられた条件に合う時刻を求めることができる		○					○			○		82.5	1.7	81.3	1.7
4（２）	40分間以内でできることを判断するために、所要時間の範囲から適切な数値の組み合わせを書く	示された時間の範囲から、目的に応じて所要時間の見当を付けることができる	○	○				○				○		75.4	1.8	72.8	2.0
4（３）	はかりの目盛りと1人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く	はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を記述できる	○	○				○				○		34.2	10.4	32.8	10.9
5（１）	一輪車の高さを調節したときの、示された長さを求める	一輪車の図から円を見いだし、円の性質を用いて、長さを求めることができる		○	○				○			○		66.1	4.8	64.4	5.7
5（２）	一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さが比例の関係にあることを基に、トラック一周の長さを求める式を選ぶ	表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択することができる				○		○			○			62.4	4.9	60.9	5.8
5（３）	示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる				○		○				○		24.7	9.5	23.3	10.6

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	9,778	155	62.6	61.8	63.3
全国（公立）	254,825	5,069	60.9	60.8	61.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
問題	主として「知識」に関する問題	7	70.8	69.1
	主として「活用」に関する問題	17	59.2	57.6
学習指導要領の領域	物質	7	63.2	61.4
	エネルギー	5	62.0	59.8
	生命	7	70.1	68.6
	地球	5	51.9	50.6
	自然事象への関心・意欲・態度	0		
評価の観点	科学的な思考・表現	17	59.2	57.6
	観察・実験の技能	2	46.7	46.2
	自然事象についての知識・理解	5	80.4	78.2
	選択式	15	66.8	65.0
問題形式	短答式	6	65.5	63.9
	記述式	3	35.9	34.5

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		千葉県（公立）		全国（公立）		
					物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（１）	水砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している	○		○							○	○			88.8	0.2	85.8	0.3
1（２）	水砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、水に溶けても重さは変わらないことを水砂糖に適用できる		○	○					○			○			82.7	0.2	76.3	0.4
1（３）	砂糖水に溶けている水砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選び、選んだわけを書く	水に溶けている物の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述できる		○	○					○				○		56.5	0.7	54.4	0.9
1（４）	梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選ぶ	物は、水に溶けると液全体に広がることを、梅ジュースに適用できる		○	○					○				○		66.9	0.5	65.6	0.6
2（１）	虫眼鏡の適切な操作方法を選ぶ	虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けている	○				○				○					65.4	0.4	65.0	0.5
2（２）ア	4月25日のサクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	学習した植物の成長の規則性を、他の対象であるサクラに適用できる		○			○			○			○			74.9	0.6	73.0	0.8
2（２）イ				○			○			○			○			89.1	0.7	88.4	0.8
2（３）太郎	サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	気温が異なる地域のサクラの開花時期を、データを基に分析できる		○			○			○			○			77.2	1.4	75.5	1.7
2（３）花子				○			○			○			○			70.5	1.4	68.9	1.6
2（４）	「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している	○				○					○		○		80.3	8.9	77.2	10.2
2（５）	スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述できる		○			○			○				○		33.0	4.4	32.1	4.6
3（１）ア	車を動かす力を強くするための工夫について、光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまる言葉を書く	光電池や乾電池の働きを強くするための要因を理解している	○			○						○		○		79.0	3.9	76.5	4.3
3（１）イ			○			○						○		○		63.1	5.0	61.7	5.4
3（２）	ゴムをねじる回数と車の進む距離の関係を示すグラフから、ゴムをねじる回数を選ぶ	ゴムをねじる回数についてグラフから分析して、予測することができる		○			○			○			○			60.2	0.8	57.4	1.0
3（３）	車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え、並列つなぎの適切なつなぎ方を選ぶ	並列つなぎについて、乾電池の向きと車の進行方向とを関係付けて、分析できる		○			○			○			○			56.4	1.1	52.7	1.3
3（４）	電磁石の強さを変えるための実験条件を書く	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら精製できる		○			○			○				○		51.3	7.0	50.6	7.2
3（５）オ	水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ	水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる		○	○					○			○			59.7	2.4	62.1	2.4
3（５）カ				○	○					○			○			43.0	2.8	42.4	2.8
3（５）キ				○	○					○			○			45.0	3.4	43.5	3.4
4（１）	方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている	○					○			○			○		28.0	2.9	27.3	3.2
4（２）	方位磁針の名称を書く	方位磁針の名称を理解している	○					○				○		○		90.9	5.3	89.8	5.7
4（３）	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表すグラフを分析できる		○				○		○			○			55.5	3.2	54.6	3.9
4（４）	木の影がなかった時間の空の様子を選ぶ	日陰の様子と雲の様子とを関係付けて、木の影がなかった時間の空の様子を分析できる		○				○		○			○			66.8	3.5	64.6	4.1
4（５）	天気の様子と気温の変化とを関係付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く	天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述できる		○				○		○				○		18.1	5.7	16.9	6.7

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,011	137	74.9	74.3	75.5
全国（公立）	424,157	4,294	75.1	75.0	75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	87.9	87.7
	書くこと	4	87.7	88.1
	読むこと	5	65.2	65.4
	言語事項	21	73.6	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	2	87.9	87.7
	書く能力	4	87.7	88.1
	読む能力	5	65.2	65.4
	言語についての知識・理解・技能	21	73.6	73.7
問題形式	選択式	16	76.2	76.1
	短答式	16	73.7	74.1
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）
1一	指示棒が指す箇所として適切なものを選択する	自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話す	○					○			○			85.8	0.3	85.4	0.3
1二	話題が変わる箇所として適切なものを選択する	間の取り方に注意して話す				○					○	○		85.7	0.4	85.0	0.4
2一	手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称として適切なものを選択する	手紙の形式を理解して書く		○					○		○			86.3	0.4	89.2	0.4
2二	時候の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する	相手に応じて文章を書き直す		○					○		○			84.9	0.5	84.9	0.5
3一	「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す	比喩を手掛かりにしながら文脈を本文中から抜き出す			○					○		○		86.4	2.1	85.9	2.3
3二	「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く	比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する			○					○		○		36.4	19.4	40.4	18.3
4一	「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す	聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す	○					○				○		90.0	2.0	90.1	2.0
4二	「生徒会活動（小学校……児童会活動）」を場に応じた話し言葉にする	話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う				○					○	○		49.3	7.6	47.1	7.7
5一	文章の特徴として適切なものを選択する	伝えたい事柄を明確にして書く		○					○		○			91.1	0.6	90.6	0.6
5二	文脈について説明する一文を書き加える	必要な情報が相手に伝わるように説明する		○					○			○		88.4	3.4	87.8	3.6
6一	「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える			○					○		○		69.6	2.8	68.1	3.1
6二	取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			○					○		○		41.1	0.6	40.3	0.6

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,011	137	74.9	74.3	75.5
全国（公立）	424,157	4,294	75.1	75.0	75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	87.9	87.7
	書くこと	4	87.7	88.1
	読むこと	5	65.2	65.4
	言語事項	21	73.6	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	2	87.9	87.7
	書く能力	4	87.7	88.1
	読む能力	5	65.2	65.4
	言語についての知識・理解・技能	21	73.6	73.7
問題形式	選択式	16	76.2	76.1
	短答式	16	73.7	74.1
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
7ー1	漢字を書く（地域の人を <u>ショウタイ</u> する）	文脈に即して漢字を正しく書く				○				○		○		50.3	17.4	51.5	14.7	
7ー2	漢字を書く（メートルは長さの <u>タンイ</u> である）					○					○		○		84.6	8.5	86.1	7.4
7ー3	漢字を書く（鉛筆を <u>カ</u> りる）					○					○		○		64.8	6.2	69.3	5.7
7二1	漢字を読む（考えに <u>相違</u> がある）	文脈に即して漢字を正しく読む				○				○		○		64.7	13.2	64.5	12.5	
7二2	漢字を読む（不純物が <u>沈</u> 殿する）					○					○		○		86.1	5.7	84.6	6.0
7二3	漢字を読む（会議で決を <u>選</u> る）					○					○		○		74.8	4.5	73.8	4.8
7三ア	適切な語句を選択する（このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく <u>調和</u> している）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○				○	○			83.1	0.7	82.6	0.7	
7三イ	適切な敬語を選択する（先生が、私の家に <u>いらっしゃる</u> ）					○					○	○		91.0	0.6	89.0	0.6	
7三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩に <u>かけて</u> 育てる）					○					○	○		62.3	1.2	60.6	1.1	
7三エ	適切な語句を選択する（ <u>たなびく</u> 雲の間から、春の光がもれている）					○					○	○		48.3	0.8	46.9	0.8	
7三オ	適切な語句を選択する（ <u>いかなる</u> 困難にもひるむことなく仕事を進めた）					○					○	○		94.5	0.8	93.5	0.7	
7四ア	適切な対義語を選択する（受 <u>償</u> ）					○					○	○		89.2	0.8	87.5	0.7	
7四イ	適切な対義語を選択する（理想）					○					○	○		63.5	0.8	66.3	0.8	
7五	はがきの表書きを書く	はがきの書き方を理解して書く				○					○		○	72.1	2.8	73.7	2.7	
7六1	ローマ字で書く（たけくらべ）	ひらがなで表記された作品名をローマ字で書く				○*					○		○	88.0	2.6	88.8	2.3	
7六2	ローマ字を読む（Tosa <u>nikki</u> ）	ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書く				○					○		○	80.8	4.8	81.9	4.2	
7七1	「諸行 <u>むじやう</u> 」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句について理解する				○					○	○		67.5	1.3	67.0	1.1	
7七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（あらは <u>す</u> ）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			○						○		○	92.6	3.4	92.6	3.5	
7八1	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する	漢字の音読みと訓読みについて理解する				○					○	○		67.0	1.5	72.0	1.3	
7八2	漢和辞典の「意味」の中から、「 <u>親光</u> 」の「光」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える				○					○	○		77.1	1.8	76.6	1.6	

※ 小学校学習指導要領による。

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,009	137	63.5	62.9	64.2
全国（公立）	424,258	4,294	63.3	63.2	63.4

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	60.1	59.9
	書くこと	4	57.0	57.4
	読むこと	5	61.6	61.5
	言語事項	0		
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	48.3	49.0
	話す・聞く能力	3	60.1	59.9
	書く能力	4	57.0	57.4
	読む能力	5	61.6	61.5
	言語についての知識・理解・技能	0		
問題形式	選択式	5	68.5	67.7
	短答式	1	84.6	84.3
	記述式	3	48.3	49.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			千葉県 （公立）		全国（公立）	
			話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・ 理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率 （％）	無解答率 （％）	正答率 （％）
1一	対談での発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	相手の話を踏まえて話す	○					○			○			80.3	0.3	79.2	0.4
1二	対談の展開を整理したものとして適切なものを選択する	話の展開に注意して聞く	○					○			○			81.7	0.4	80.8	0.4
1三	これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く	相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く	○	○			○	○	○			○		18.4	13.4	19.7	13.9
2一	「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す	文脈の中における語句の意味を捉える			○					○		○		84.6	4.5	84.3	4.9
2二	祖母向けの説明書の工夫として適切なものを選択する	効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く		○					○		○			83.3	0.5	82.5	0.5
2三	祖母向けの説明書の一部を書く	資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く		○	○		○		○	○		○		67.8	7.8	68.4	8.1
3一	物語について説明したものとして適切なものを選択する	物語の展開や表現の特徴を捉える			○					○		○		62.6	0.8	61.6	0.8
3二	物語に描かれている季節を選択する	物語の場面の展開を捉える			○					○		○		34.5	0.7	34.2	0.7
3三	朗読の仕方の工夫とその理由を書く	物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く		○	○		○		○	○		○		58.6	14.4	58.9	13.6

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,006	137	61.4	60.5	62.2
全国（公立）	424,379	4,290	62.1	62.0	62.3

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	12	66.6	67.5
	図形	12	66.7	66.7
	数量関係	12	50.8	52.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な表現・処理	13	68.6	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	23	57.3	57.8
問題形式	選択式	21	59.2	59.7
	短答式	15	64.5	65.5
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（１）	8と12の最小公倍数を求める	2つの自然数の最小公倍数を求めることができる	○ ^{※1}					○			○		68.9	2.3	67.7	2.6
1（２）	6－（－7）を計算する	正の数と負の数の減法の計算ができる	○					○			○		87.8	0.9	88.5	1.1
1（３）	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	○					○			○		67.4	1.0	66.4	1.2
1（４）	天気予報の情報から、ある市の最高気温と最低気温の差を求める	正の数と負の数を用いて日常的な事象を処理することができる	○					○			○		74.4	1.6	73.5	1.8
2（１）	（7x＋5y）－（5x＋2y）を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	○					○			○		75.2	2.0	77.6	1.8
2（２）	x＝3のときの式－x ² の値を求める	指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求めることができる	○					○			○		65.2	7.0	66.3	6.0
2（３）	整数aを用いて、式2aで表すことのできる数を選ぶ	文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる	○						○		○		36.1	4.8	36.6	4.8
2（４）	「1個a円の品物を2個買った代金は1000円より安い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	○					○			○		63.2	0.5	65.2	0.5
3（１）	比例式6：8＝x：12を解く	簡単な比例式を解くことができる	○					○			○		55.9	6.1	61.8	5.8
3（２）	連立方程式 $\begin{cases} a+b=8 \\ 2a+b=11 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○					○			○		79.4	7.1	80.5	6.4
3（３）	一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解している	○						○	○			78.6	0.6	78.5	0.6
3（４）	方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べることにについて、正しい記述を選ぶ	方程式を活用して、問題を解決する手順を理解している	○						○	○			47.6	1.1	47.8	1.2
4（１）	与えられた方法で作図された直線がもつ性質として、正しい記述を選ぶ	角の二等分線の作図の方法について理解している		○					○	○			57.6	0.9	56.3	0.9
4（２）	三角形を、直線を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる		○				○			○		79.3	2.7	81.3	2.7
4（３）	中心角120°の扇形の面積について正しいものを選ぶ	扇形の面積がその中心角の大きさに比例することを理解している		○					○	○			69.0	0.8	69.0	0.9
5（１）	直方体の辺と面上の線分との位置関係について、正しい記述を選ぶ	直方体における辺と面に含まれる直線との位置関係を理解している		○					○	○			61.2	0.6	60.9	0.6
5（２）	1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選ぶ	回転体がどのように構成されるかを理解している		○					○	○			85.0	0.5	86.9	0.5
5（３）	三角柱の展開図として正しいものを選ぶ	三角柱の展開図について理解している		○					○	○			93.2	0.5	92.8	0.5
5（４）	正四角錐の体積を求める式として正しいものを選ぶ	正四角錐の体積の求め方を理解している		○					○	○			57.5	0.8	60.8	0.7

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,006	137	61.4	60.5	62.2
全国（公立）	424,379	4,290	62.1	62.0	62.3

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	12	66.6	67.5
	図形	12	66.7	66.7
	数量関係	12	50.8	52.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な表現・処理	13	68.6	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	23	57.3	57.8
問題形式	選択式	21	59.2	59.7
	短答式	15	64.5	65.5
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
6（１）	三角定規による平行線の作図について、正しい記述を選ぶ	同位角が等しければ２直線は平行であることを理解している		○					○	○			43.8	0.9	43.6	1.0
6（２）	n 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n 角形の内角の和を求める公式の意味を理解している		○					○	○			47.4	0.8	45.7	0.8
6（３）	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	三角形の合同条件を理解している		○					○	○			68.8	0.7	66.8	0.7
7	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	具体的な命題について、仮定と結論を区別して、もとの命題の逆をつくらることができる		○				○			○		72.7	7.1	72.4	7.0
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している		○					○	○			65.2	0.9	64.4	1.0
9（１）	y が x に比例し、比例定数が３のとき、 x 、 y の値について、正しい記述を選ぶ	比例定数の意味を理解している			○				○	○			50.8	1.4	51.8	1.4
9（２）	$y=2x$ 上の点を選ぶ	比例のグラフ上にある点の x 座標と y 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している			○				○	○			47.8	1.1	49.8	1.1
10（１）	反比例の表を完成する	反比例の関係を表す表から、表中の値を求めることができる			○			○			○		44.8	3.3	48.8	3.4
10（２）	反比例のグラフを選ぶ	反比例の関係を表すグラフの特徴を理解している			○				○	○			49.0	1.3	52.2	1.4
11（１）	$(-1, -4)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる			○				○		○		59.8	4.0	61.0	4.0
11（２）	一次関数のグラフから式を選ぶ	与えられたグラフから、傾きと切片の値を読み取り、一次関数 $y=ax+b$ の式を指摘できる			○				○	○			70.6	1.3	72.0	1.1
12	一次関数を表した事象を選ぶ	２つの数量の関係が一次関数になることを理解している			○				○	○			36.3	1.8	37.9	1.8
13	二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している			○				○	○			37.0	2.3	38.8	2.2
14（１）	１枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	前の試行が次の試行に影響しない場面において、「同様に確からしい」ことの意味を理解している			○				○	○			63.0	1.8	64.6	1.6
14（２）	数字の書かれた３枚のカードから２枚のカードをひくとき、両方とも奇数のカードである確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる			○			○			○		58.1	7.4	57.4	6.9
15（１）	度数分布表について、正しい記述を選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している			○ ^{※2}				○	○			49.7	3.0	48.7	2.6
15（２）	フリースローでボールの入った回数と人数の関係をまとめた図から、ボールの入った回数の最頻値を求める	資料を整理した図から最頻値を読み取ることができる			○ ^{※2}				○		○		43.0	18.3	42.4	16.9

※1 小学校学習指導要領による。
※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	17,006	137	48.8	47.7	49.9
全国（公立）	424,373	4,291	49.3	49.2	49.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	4	39.6	40.9
	図形	7	59.7	59.7
	数量関係	4	38.9	39.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	12	41.1	41.8
	数学的な表現・処理	2	74.7	75.0
	数量、図形などについての知識・理解	1	89.4	89.0
問題形式	選択式	3	58.1	58.4
	短答式	5	65.5	65.4
	記述式	7	32.9	34.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（1）	ISSの高度を1cmとしたときの、ひまわり7号の高度を選ぶ	表から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	○				○			○			61.5	0.5	61.8	0.6
1（2）	2つの人工衛星の軌道の長さの差を求める計算から分かることを選び、その理由を説明する	軌道の長さの差を求める計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	○				○					○	10.2	4.6	9.9	4.7
2（1）	連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	事柄が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明することができる	○				○					○	32.3	28.0	36.3	24.1
2（2）	連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	○				○					○	54.3	26.6	55.3	24.9
3（1）	原田選手と船木選手の飛んだ回数を求める	総度数の意味に基づいてヒストグラムから必要な情報を適切に選択することができる			○※1			○				○	72.6	4.8	72.8	5.2
3（2）	次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を選び、その理由を説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			○※1		○					○	44.5	5.0	46.1	4.9
4（1）	線対称な図形を対称の軸で折り返したとき、対応する点を答える	作図の手順を理解し、作図によってできる図形の特徴を的確に捉えることができる		○					○			○	89.4	5.0	89.0	5.3
4（2）	2つの直線が垂直に交わることを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる		○			○					○	44.7	24.2	45.1	22.4
4（3）	異なる場合での垂線の作図で、共通して利用されている図形の性質を選ぶ	複数の作図を統合的に捉え、作図された図形に共通する性質を見いだすことができる		○			○			○			55.8	1.3	56.5	1.5
5（1）	CDが1.2m、DBが8.3mのときの、木の高さABを求める	「木の高さの求め方」から必要な情報を適切に選択し、処理することができる		○			○					○	71.3	11.1	70.4	11.5
5（2）	長さを置き換えてよい根拠となる、長方形の性質を選ぶ	「木の高さの求め方」を事象に即して解釈することができる		○			○			○			57.0	2.0	56.8	2.1
5（3）	AEの長さを求められるようにするための方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる		○			○					○	23.2	44.6	22.5	43.5
6（1）	正十二角形の1つの外角の大きさを求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる		○				○				○	76.9	6.4	77.2	6.2
6（2）	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	図形の性質を数量の関数に着目して捉え直し、その特徴を捉え、数学的に表現することができる			○※2		○					○	17.2	33.1	17.4	31.0
6（3）	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関数がどのような関数であるかを選び、その理由を説明する	問題解決を振り返って、数量の関係を数学的に解釈し、関係が成り立つ理由を説明することができる			○		○					○	21.2	8.4	22.9	8.3

※1 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。
※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「関数」の領域の内容となる。

・以下の値は、４月１７日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	16,997	137	50.1	49.4	50.9
全国（公立）	424,320	4,294	51.0	50.9	51.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
問題	主として「知識」に関する問題	10	53.8	56.1
	主として「活用」に関する問題	16	47.8	47.8
学習指導要領の領域	物理的領域	8	45.7	45.9
	化学的領域	6	56.1	56.9
	生物的領域	6	48.4	50.7
	地学的領域	6	51.8	52.0
評価の観点	自然事象についての関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	16	47.8	47.8
	観察・実験の技能	4	62.7	63.6
	自然事象についての知識・理解	6	47.9	51.1
問題形式	選択式	12	59.6	60.3
	短答式	9	47.9	49.0
	記述式	5	31.5	32.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然事象についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）
1（１）	水草の働きと発生する気体の名称を答える	魚類の呼吸と水草の光合成を理解している	○				○				○		○		50.9	11.6	54.9	10.4
1（２）	両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する	動物を飼育する場面で、両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して、飼育の環境を整えた理由を説明することができる		○			○		○			○			36.7	13.1	37.4	11.6
1（３）	成長して種子になる部分の名称を選ぶ	「胚珠は、めしべの子房の中にあり、成長すると種子になる」という知識を身に付けている	○				○				○	○			62.5	0.4	70.9	0.4
1（４）	示された花の模式図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選ぶ	花のつくりを考える場面で、花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、アブラナの花のつくりを表している模式図を指摘することができる		○			○		○			○			64.3	0.4	66.0	0.5
1（５）	「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組合せを選ぶ	「花が開くには温度が関係している」という考察を導くために、実験結果を分析し解釈して、比較する実験結果の組合せを指摘することができる		○			○		○			○			40.7	0.4	41.3	0.6
1（６）	チューリップの花が開く温度を明らかにするための追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から設定する温度を答える	実験結果の考察から花が開く温度を予想して、適切に温度を設定し、追実験を計画することができる		○			○					○			35.3	7.8	33.9	8.3
2（１）	電圧が1.2Vのときの電流計の図から、電流の大きさを読みとり答える	電流計の読み方の技能を身に付けている	○		○					○			○		45.2	6.9	44.3	7.7
2（２）	1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する	抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することができる			○	○			○				○		7.1	20.3	7.6	19.6
2（３） X	2つの実験結果から、電圧2.0Vのときの、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較して答える	実験結果を分析し、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較することができる		○	○	○			○				○		54.8	11.5	53.7	11.5
2（３） Y	2つの実験における豆電球と発光ダイオードの消費する電力から、自然電球とＬＥＤ電球の省エネの効果を考察し、ＬＥＤ電球の省エネの効果を答える	実験の考察とＬＥＤ電球の省エネの効果を関連付けている場面で、電力に関する知識を活用して、ＬＥＤ電球の省エネの効果を考えることができる		○	○				○			○			84.5	10.1	83.9	10.4
2（４）	自然電球とＬＥＤ電球で、省エネの効果を比較する実験を考えるときに、必要な条件を選ぶ	「省エネの効果を比較する」という実験の目的のもと、「明るさ」の条件を制御した実験を計画することができる		○	○				○			○			72.1	1.0	72.3	1.0
2（５）	自然電球をＬＥＤ電球に交換するとき、消費する電力量を減らすために最も効果がある場所を選び、その理由を説明する	自然電球をＬＥＤ電球に交換しようとする場面で、電力量の知識を活用して、最も省エネの効果がある場所を考え、その根拠を説明することができる		○	○				○			○			60.0	3.5	58.6	3.5
2（６）	自然電球とＬＥＤ電球を、それぞれ１時間使用する場合に、消費する電力量の差を求める式を書き、電力量の差を求める	電力量を理解している	○		○						○		○		7.8	47.1	11.1	41.1

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
千葉県（公立）	16,997	137	50.1	49.4	50.9
全国（公立）	424,320	4,294	51.0	50.9	51.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、
それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、
実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
問題	主として「知識」に関する問題	10	53.8	56.1
	主として「活用」に関する問題	16	47.8	47.8
学習指導要領の領域	物理的領域	8	45.7	45.9
	化学的領域	6	56.1	56.9
	生物的領域	6	48.4	50.7
	地学的領域	6	51.8	52.0
評価の観点	自然事象についての関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	16	47.8	47.8
	観察・実験の技能	4	62.7	63.6
	自然事象についての知識・理解	6	47.9	51.1
問題形式	選択式	12	59.6	60.3
	短答式	9	47.9	49.0
	記述式	5	31.5	32.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			千葉県（公立）		全国（公立）		
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然事象についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
3（1）	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象と観察の観点を選ぶ	「地層の連続性や成因を調べるために、断層の有無や地層に含まれている粒に着目する」という地層観察に関する技能を身に付けている	○					○		○			○			87.7	0.6	86.9	0.7
3（2）	地層観察の結果から、観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ	観察地における地層の広がり方について、観察地の図と観察結果から分析して解釈し、地層の傾きを認識して、その傾きの方向を指摘することができる		○				○		○			○			31.7	1.3	31.2	1.3
3（3）	地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する	地層などの知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、根拠を示して改善した考察を説明することができる		○				○		○				○		10.8	5.7	10.4	6.0
3（4）	ローム層の厚さと偏西風の影響の情報から、火山、観察地、中学校の位置関係を適切に示した模式図を選ぶ	火山灰の広がり方を考察する場面で、火山などの知識を活用し、偏西風の影響などの情報から、火山と観察地などの位置関係を推定することができる		○				○		○				○		51.2	2.1	48.3	2.2
3（5）	アサリの化石が含まれる地層が堆積した当時の生活環境を選ぶ	示相化石に関する知識を身に付けている	○					○				○	○			61.7	1.1	61.9	1.1
3（6）	「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのとき発生する気体の名称を答える	「石灰岩（石灰石）にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている	○					○		○				○		67.6	11.4	73.4	10.2
4（1）	濃度10%の食塩水1000gをつくるために必要な食塩と水の質量を求める	「特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくる」という技能を身に付けている	○			○				○				○		50.3	18.4	49.8	18.8
4（2）	実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵のとがっている部分の位置を選ぶ	実験結果や卵の断面図を分析し解釈して、卵の構造を推定することができる		○		○				○				○		62.0	1.9	61.4	1.8
4（3）	実験結果から、食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める	浮力を理解している	○		○							○		○		34.3	41.9	36.2	40.2
4（4）	食塩水がいくらかでも濃くできるわけではない理由を説明する	「いくらかでも食塩水を濃くできるわけではない」という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明することができる		○		○				○					○	42.7	29.5	46.6	26.9
4（5）和宏さん	食塩水のようなす、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	水溶液においては、溶質が均一に分散していることを粒子のモデルと関連付けて理解している	○			○						○	○			70.4	2.7	71.6	2.5
4（5）望さん	液体のようなす（上部が水、下部が食塩水）を、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	液体のようなすについて予想を立てる場面で、水溶液の知識を活用して、予想を粒子のモデルで表している図を指摘することができる		○		○				○				○		67.9	3.0	68.4	2.7
4（6）	二人の考えのどちらが正しいかを調べる実験の方法と、その実験を行ったとき、得られる実験結果として、正しいものを選ぶ	「水槽の中の液体が、食塩水の1層なのか、上層が水、下層が食塩水の2層なのか」ということを検証する実験を計画することができる		○		○				○				○		43.3	3.6	43.7	3.2